

農と暮らしの新たな視点を探る

産直コペル

sanchoku cooper

2018.7 Vol.30

特集

農業系CSRの今

社員教育を通じ、地域の農地再生へ

NEC田んぼ作りプロジェクト

株式会社ノバレーゼ

CSRで地方に「ちよっと素敵なしボリユーシヨン」を

土から育てる Vol.19

美味しいお茶は土づくりから

農家を訪ねて Vol.27

見せる農家として伝えたいこと

HIPとはなにか

東京農工大学 野見山敏雄

写真1 HIPはどのように機能するか

How does HIP work?

- 1** You are already enrolled! Use your SNAP dollars to buy farm-fresh fruits and vegetables at a HIP retailer.
- 2** An equal amount of money, up to your monthly limit, is instantly added back to your EBT card.
- 3** Your receipt will show the amount of additional SNAP dollars you've earned.
- 4** Spend your earned benefits anywhere that accepts SNAP.

Supported by USDA FNI and the Commonwealth of Massachusetts.

HIPとはアメリカ・マサチューセッツ州で実施されている Healthy Incentives Program (健康増進プログラム) のことである。仕組みはこうである。SNAP(栄養補助プログラム)参加者がファーマーズ・マーケットやCSA(地域支援型農業)で野菜や果物を購入した場合、報奨金を州政府が支給することにより割高になる有機農産物の購入を奨励するものである。HIPの報奨金は世帯人数により異なる。

写真2 HIPが使える小売店

Farmers Markets
Look for participating farmers at regularly scheduled markets in your town or nearby, selling fresh fruits and vegetables.

Farm Stands
On-farm stores where you can buy fresh fruits and vegetables, right from the hands that picked them.

Mobile Markets
Markets that bring farm-fresh produce right to your community.

CSA Farm Shares
Membership-based service that provides your family with fresh fruits and vegetables every week.

り、一世帯1〜2人が月40ドル、3〜5人は月60ドル、6人以上は80ドルという上限がある。HIPの報奨金はEBTカード(食料と現金を給付するカード)に付加され、次回の買い物で使用できる。

このSNAPはフードスタンプ・プログラムとして知られていたが、低所得者を対象に、野菜や果物や他の健康食品の購入を増やすことを目的にしていた。アメリカ農務省はSNAPにお

出典: ボストン市HP
<https://www.boston.gov/departments/food-initiatives/healthy-incentives-program>

ける健康および栄養の促進を評価するパイロットプロジェクトのために2,000万ドルを承認し、対象地域としてマサチューセッツ州ハンプデン郡がHIPの地域に選ばれた。ハンプデン郡は人口約46万人で、同プロジェクトは都市部、郊外部、農村部の27都市とSNAP世帯約5万人を対象とした。このHIPは2011年11月から2012年12月までの14ヶ月間運用され、HIPに参加する家庭は無作為に抽出され、12ヶ月間報奨金を得た。

このアメリカ農務省のパイロット事業の評価では、SNAPに30セントの追加給付をすることで、平均して褒賞を受けていない世帯よりも約26%多くの果物と野菜を食べたという結果が出た。

そこで、マサチューセッツ州では2017年4月から3年間のプログラムでHIPを開始した。しかし、わずか11ヶ月で国家が提供する360万ドル(約4億円)の

報奨金の予算は払底し、2018年4月15日にこの事業は停止された。このことは、低所得者世帯も食に気を遣っており、地元の農家から地場産農産物を買いたいという強い欲求があることを物語っている。

また、HIPの報奨金は地元の農場、企業、そして従業員など地元経済にも恩恵を及ぼしている。HIPに参加している200の農家の中には、ファーマーズ・マーケットでの売上高が25%増加しただけでなく、CSAへの参加者も増えているという。

野見山敏雄さん
東京農工大学大学院農学研究院教授

東京農工大学で教鞭をとっており、最近の研究テーマは、半商品経済を組み込んだ農林産物の生産と流通に関する総合的研究である。主な著書には、産直商品の使用価値と流通機構(日本経済評論社)や食料・農業市場研究の到達点と展望(筑波書房、共著)など多数。2012年より地産地消優良活動表彰審査委員会・委員、17年から委員長を務めている。

2018年6月4日〜8日、筆者は食糧の生産と消費を結ぶ研究会が主催するマサチューセッツ州の小規模有機農業経営やボストン市内のスーパーマーケットを視察するツアーに参加する。次回はHIPの効果と限界について報告したい。